



いいで町

152号

議会だより



ゆり園 通年利用に一役!! ダニエル・カールさん

12月議会(第9回定例会)

- ☆子ども・子育て施策の推進を図るため
……「子ども・子育て会議条例」を設定
- ☆農業政策など3議員が町政をたず

年頭のあいさつ	P2
概要・条例	P3
一般質問	P4~6
補正予算	P7
各常任委員会	P8~9
みなさんと語る会	P10~13
臨時会・議運研修	P14
議会研修会	P15
一部事務組合・編集後記	P16

年頭のごあいさつ



議長 中村 仁一

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より議会活動には、ご理解とご指導を賜り、感謝申し上げます。

昨年8月に任期2年を経過し、新たな体制で出発、更なる議会改革を進めるべく、議員一同気持ちを新たに活動しているところであります。

昨年7月の集中豪雨により、35年の歳月を要して開通した飯豊桧枝岐線「飯豊一の木区間」が1ヵ月余りで通行止めとなり、議会としても早い復興を国へ陳情してまいりました。

また、町の基幹産業である農業において、昨年11月に経営所得安定対策や米の生産調整の見直しなど、新たな農政改革が5年後を目途に進められようとしています。議会も一丸となり、町独自の農業政策に取り組んでまいります。さらに、安部内閣が掲げる「アベノミクス」の効果がまだ地方には届かない状況ではありますが、常に状況を把握し対応してまいります。

昨年も「みなさんと語る会」を開催し、大勢の皆様に参加を得て、ご意見や提言・ご指導をいただき、新たな課題なども出されました。それらの解決を着実に進めていくことが、重要であると考えます。

地方分権が叫ばれる中、議会の役割であるチェック機能は当然であります。議員の提言が「政策立案」の確立につながると思えます。

皆様のご意見に十分に耳を傾け、「初心忘れず」邁進してまいります。

本年もご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。

子育て支援 より充実!!

平成25年12月定例会概要

平成25年12月定例会は、12月10日から17日まで8日間の会期で開催されました。

第1日目は、一般質問及び広報常任委員会並びに議会刷新特別委員会（小委員会）を開催。

一般質問は、次の3議員が町政をただしました。

○鈴木敏夫
「地域資源の活用により経済の活性化を」

○菅野富士雄
「どうする、水田農業・観光振興」

○船山清一
「わが町の美しい村、景観がピンチでは」

第2日目は、諸般の報告及び執行部から9月定例会以降の行政全般にわたる報告が行われました。

条例の設定及び改正4件、25年度各会計補正予算9件を審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。

第4日目は、総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会を開催。

最終日に追加案件を審議し、原案のとおり全会一致で可決、閉会しました。

条例（設定・改正）

設定

○飯豊町子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法の規定に基づき、

「飯豊町子ども・子育て会議」を設置する条例を制定するもの。同

会議は、一定の事項について調査及び審議し、町長に意見を述べることができるとするもので、委員10名で構成する組織です。

一部改正

○飯豊町町税条例

地方税法施行令の一部を改正する政令及び

《内容》

同法施行規則の一部を改正する省令の交付に伴い所要の改正をするもの。

○飯豊町国民健康保険税条例

地方税法施行令の一部改正に伴い改正するもの。

○飯豊町税外収入金督促手数料及び延滞金徴収条例

地方税法の一部を改正する法律が交付され、この改正に伴い延滞金の割合等について見直しが行われたことから、これに準じ延滞金等の割合等について改正するもの。



分担金・使用料・加
入金・手数料及び過料
等、税金以外の収入
（税外収入という）に
ついて、納期限までの
納付がないときは、年
14・6%または7・
3%の割合を乗じた延
滞金が徴収されますが、
この割合を当分の間、
一定の割合に見直すも
の。

一般質問

農政大転換・飯豊の農業は



鈴木敏夫議員

- 農政大転換・飯豊の農業は
- 地域資源を活用した振興策は
- 婚活への取り組みについて
- いじめ防止対策の取り組みは

質問 農政大転換・農業振興の方策は。

「飯豊・農の未来賞」を創設

町長 一つは生産調整の見直しで自給圏の充実が図れるかどうか。もうひとつは、土地利用型の農業を次世代に引き継ぐ方策、三つめは農業の高付加価値、いわゆる6次産業化です。日本の農業政策大

転換時代を迎える中で、町の農業振興策の道筋を立てるため、「飯豊・農の未来賞」を創設し、全国より農業振興に関する企画提案を募集します。集まった英知は、飯豊の新たな農業の方向性を導き出す礎になるものと考えています。

質問 地域資源を活用した経済の振興策は。

相談窓口を設置

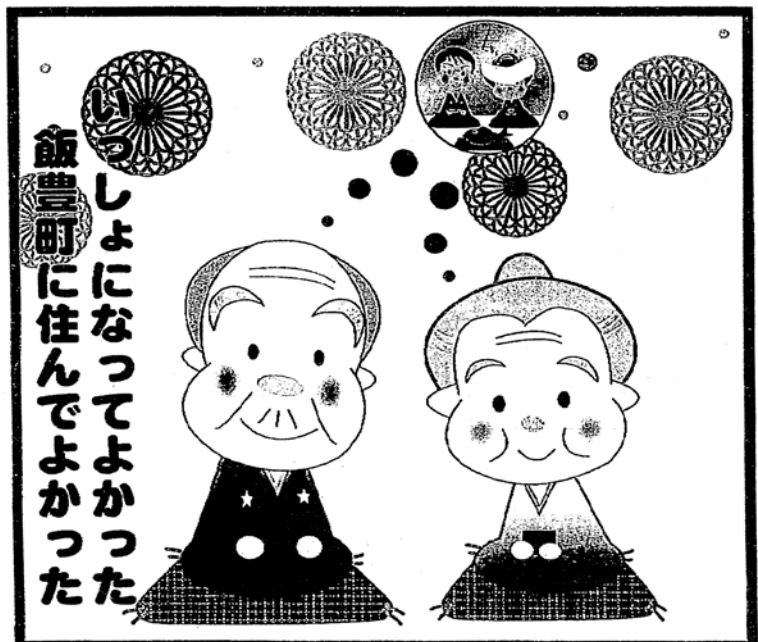
町長 農業を基本とした販売や加工などの新たな分野での事業化や、他の異業の方と連携した取組みがしたい。ヒントや情報を得たいことがあれば、是非ご相談をいただきたい。いろいろな支援を検討します。

大都市において、特産品等のチャレンジ販売等が可能な環境整備を、平成26年度に実施します。

新年度で予算化を検討

町長 後継者育成の観点から、結婚支援を重視していきます。婚活イベントの開催

質問 婚活への取り組みは。



今年度中 基本方針を策定

や情報提供、県が行っている「やまがた結婚サポートセンターによる支援」等の有効活用を図り、町を越えた広域による連携も含めて、結婚支援策の新年度予算化を検討します。

質問 いじめ防止策の取り組みは。

教育委員長 本町の事情を考慮しながら、基本方針の策定に向けて準備を進めています。来年度の町学校教育指針とともに、今年度中に策定する計画です。

一般質問

どうする!! 水田農業・観光振興



菅野富士雄 議員

○米づくりを中心とする農業
今後の課題解決策は
○山形デスティネーション
・キャンペーン(DC)の活用策は

質問 安倍政権は、農家所得倍増を目指し、「攻めの農業」を展開、町はどう取り組むか。

我が町にあわせて

町長 生産調整の見直しで影響がでないよう、地産地消を図りながら飯豊ブランドを構築していきます。

2点目は土地利用型農業を次世代に引き継ぐための「飯豊・農の

未来賞」を創り、全国より公募します。

さらに、6次化はもとより、耕畜連携や農業の地域内作業分散化で、複合経営体の立ち上げを推進します。

質問 「人・農地プラン」策定状況は。

農家への周知不徹底時間をかけて説明を。

町内18地域で策定

町長 旧村・大字毎・集落単位で策定されました。プランは変更も可能であり、地域の実情にあわせていきます。農業委員会会長 県レベルの機関も立ち上がりましたが、当町では「人・農地プラン」が現実的です。積極的に関わり、優良農地の確保利用に努めます。

質問 JR東日本が中心となり観光キャンペーンが始まるが、一過性のものにならないよう、ゆり園を含む観光施設の活用が必要では。

6月59月にかけて

町長 ゆり園は春の桜から冬のスノーパークなど、通年公園として利用していただいています。しかし、有料入

場者数が震災後減少し続けています。平成26年は山形DCで全国展開できるチャンスを活かしていきます。また、全国育樹祭関連の事業もあり、長い期間で施設の有効利用を図ります。

町長 教育旅行・台湾からの受け入れなど、食文化や、暮らしの一部を共有する「旅」の魅力が商品となっております。都会の企業の研修受け入れも実施されました。今後は各民宿の課題をお聞きし、解決のため、地域振興担当職員を活用していきます。

農・都交流事業の受け入れも

山形DCとは
JR東日本が集中的な宣伝を広域に実施し全国から誘客を図ること。



資源循環型農業 これから中心に

一般質問

わが町の「美しい村景観」がピンチでは



船山清一 議員

○立ち枯れ木の処分整理を

質問 わが町自慢の「美しい村景観」がここ数年悪化しつつあり、気がかりです。松くい虫、ナラ枯れ病の立ち枯れ木が放置され、緑の山野が茶色に変わり、年々その面積が拡大しているからです。

松くい虫、ナラ枯れ病の立ち枯れ木が放置され、緑の山野が茶色に変わり、年々その面積が拡大しているからです。

松くい虫、ナラ枯れ病の立ち枯れ木が放置され、緑の山野が茶色に変わり、年々その面積が拡大しているからです。

人的被害防止を 主眼に

主眼に

町長 ここ数年前からナラ枯れ病が発生し、数々の樹木が被害を受け、本来あるべき里山景観が損なわれる一因となっております。

日本一美しい村が、日本一枯れ木の多い村になってしまっは一大事です。

町の景観保全は、町政の重点施策の一つです。立ち枯れ木の伐倒

処理をすることが必要だと思われるが、



る二次被害防止に努めてきました。

伐倒処理が進み目立たなくなっていますが、民有地は立ち枯れのまま残っています。面積も大きく特に景観を損ねています。

多額の経費がかかることから、町・県等の支援が必要と思われるが、どのような対応ができるか。

町長 本来あるべき美しい森林を保持するためにも、単に所有者に委ねることなく、里山林整備事業など、国や県の補助制度を最大限に導入しながら、里山の保全と景観形成に積極的に努めていきます。

町長 本来あるべき美しい森林を保持するためにも、単に所有者に委ねることなく、里山林整備事業など、国や県の補助制度を最大限に導入しながら、里山の保全と景観形成に積極的に努めていきます。

町長 本来あるべき美しい森林を保持するためにも、単に所有者に委ねることなく、里山林整備事業など、国や県の補助制度を最大限に導入しながら、里山の保全と景観形成に積極的に努めていきます。

町長 本来あるべき美しい森林を保持するためにも、単に所有者に委ねることなく、里山林整備事業など、国や県の補助制度を最大限に導入しながら、里山の保全と景観形成に積極的に努めていきます。

質問 被害木を山中に

里山林整備事業 などで対応

などで対応

野積みして腐らしているのが多く見受けられるが、ペレットの原料や薪、チップ等に加工して有効活用すれば、景観の保全と産業振興との一石二鳥になるのでは。

利用は可能 他町では実績も

農林振興課長 被害木は原則移動が禁じられていますが、搬出・加工・活用がきちんとされれば認められています。温海町では、加工活用の実績を上げています。本町でも有効活用を図るべく、研究を進めています。

奥山からの搬出は、大きな課題ですが、里山を対象とした研究と計画に取り組んでいます。

平成25年度 各会計補正予算

補正 予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計（第8号・9号）	59億5706万円 （2993万円を追加補正）
国民健康保険特別会計 （事業勘定）（第4号）	8億8532万円 （78万円を追加補正）
国民健康保険特別会計 （直診勘定）（第4号）	1億3915万円 （114万円を追加補正）
後期高齢者医療特別会計 （第3号）	8205万円 （329万円を追加補正）
介護保険特別会計 （第4号）	10億4322万円 （10万円を追加補正）
介護老人保健施設特別会計（美 の里）（第4号）	3億750万円 （787万円を追加補正）
物品調達特別会計 （第1号）	1774万円 （140万円を追加補正）
農業集落排水事業特別会計 （第3号）	6億3848万円 （886万円を追加補正）
生活排水個別処理事業特別会計 （第1号）	5913万円 （55万円を追加補正）
水道事業会計（収益的収入及び 支出）（第4号）	収入に530万円・支出に 328万円を追加

今回の補正は歳入に注目 ふるさと寄付金に1000万円

一般会計補正予算第8号及び第9号並びに8特別会計補正予算が全会一致で可決されました。歳入に個人町民税の所得割1520万円、ふるさと寄付金1000万円、地方交付税585万円、公立置賜総合病院負担金の精算等により財政調整基金繰入れ3000万円を減額したことが特徴です。

平成25年度一般会計補正予算の主な内容	
（歳入）	
町税	1520万円
地方交付税	5852万円
寄付金	1000万円
財政調整基金繰入金	△3000万円
諸収入	2131万円
（歳出）	
プレミアム商品券	650万円
固定資産税の滞納処分弁護士手数料	100万円
なでしこハウス移転に伴う工事費	500万円
子ども・子育て支援電子システム構築	430万円
公有財産（土地）購入費	480万円
町道舗装補修工事費	5000万円
除雪委託費	1466万円
町道南館深淵線他交付金工事費	△3200万円
消防デジタル無線機購入費	470万円

今定例会までには900万円弱のふるさと寄付金を頂きました。議会としても、ふるさとギフト等に対する質問等をし、一層の利用拡大が期待されるようにいたしました。冬に向けて、消雪道路の維持状況についても質問。安心・安全な通行がで

きるようには確認をいたしました。また、消雪ポンプの更新（一ヶ所）に追加補正を可決しました。



消防分署改築に向けて

総務文教常任委員会

各課からの報告

総務企画課

◆現在椿保育園と併設の「なでしこハウス」で行っている介護予防事業を社会福祉協議会に移設します。

待機児童解消のため椿保育園の園児室を確保するものです。

住民税務課

◆冬の交通安全運動の11月28日から12月8日の10日間で、管内では6件の死亡事故が発生し、交通死亡事故多発警報が発令されました。夕暮れから夜の時間帯の発生が多くなっています。

教育文化課

◆教育懇談会を12月22日開催。

◆第一小学校改築関係

の取り組み状況と、今後の予定について検討委員会・部落長等研修会で概要説明。

◆椿行屋修復が完了しました。また、岩倉神社参門仁王像が町文化財指定の答申をうけました。

質問と答弁

問 交通安全について

中学生の送迎に絡む死亡事故が発生しているが、保護者の送迎、スクールバス利用などについては学校に対してどのように指導しているのか。

答 中学校においては

一定の距離未満は自転車通学、それ以上はバス通学とし、原則家用車は禁止と指導しています。大きな楽器の

運搬など例外的にやむなしとしている面もあります。

問 事故があつてから原則を守れということではなく、定期的に指導をしていくシステムをつくるべきでは。

答 毎年度PTA総会

の折に、学校長から通学の意味も含めて話をしています。特に、徒歩や自転車で登校することの利点等を話しています。

問 消防分署の改築に

関して一部で混乱を招いている。萩生地区の地域づくり座談会での説明に起因するものとおもわれるが、その流れと状況の説明をもとめます。

答 消防分署改築の必



改築予定の消防分署

要性と私的な考えを述べ混乱を招いてしまつた。改築については、西置賜行政組合で白鷹・飯豊両分署の改築の必要があり、用地は各町が調整することとなつていくものです。26・27年度の計画となつていきます。現段階では具体的なことは何も決まってい

ないが、飯豊分署の場合、総合的な防災基地として整備したいと考えていますので、現在地では狭いのが明らかです。今後、地域の理解を得て場所の選定、規模、機能など具体的内容を検討して予定年次に間に合わせていきます。

里山の再生に期待

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課・農業委員会

◆森林・山村多面的機能発揮対策交付金について、地域の森林を地域で保全していくもので、全額国費で賄われ、交付額は、平成25年度

商工観光課

◆プレミアム商品券発

(15万円)平成26～27年度(160万円)です。場所は中津川地区

で、財産区を中心に中津川地区森林利用保全活動組織に交付する計画です。

行については、発行総額3千600万円、購入は1家庭6セット(3万円分)が上限です。また、イベント負担金を1枚1%の5円を3円に引き下げる計画です。

地域整備課

◆住宅リフォーム事業の状況は、11月末現在59件の申し込みで1932万円の執行です。

◆水道予定工事は新水源ボーリング調査のみです。

質問と答弁

問 プレミアム商品券に関する質問

①購入額の上限を3万円に値下げした理由。

②完売になるのなら町外に売らなければよい

のでは。

③取扱事業者のサービス拡充等の調査は。

④事業を見直し、商店の育成に補助金を回したらどうか。

⑤商品券取扱手数料は誰が払うのか。

事業実施の予定です。

問 ①手ノ子地区圃場整備の場所、面積は。

②小水力発電、年間水利権は。

答 ①中里橋から大橋の間で、25畝です。

②水利権は国と調整が必要であり、小水力発電は届出制にしたとのこと。

問 ①人・農地プランの農地集積計画は。

②薬草栽培、現地見学は何か。

答 ①計画は2216畝、うち集積目標は1200畝です。

問 なでしこハウスの計画は。

②6次産業化のため、おたね人参やトキなどの薬草情報収集です。

答 社会福祉協議会の一部を借りて4月から



森林保全活動

みなさんと語る会 皆さんの声を議会活動に

数多く出された意見等

25年11月4日から29日まで下記の日程で、議会主催の「みなさんと語る会」を、地区協議会長等会や部落長等会のご協力を得て開催しました。

出席者は163人で、昨年よりは少ないものの、議会や町政に対する意見や要望、提言など数多くお聴きすることができました。

議会の活動報告だけでなく、地域の課題を把握し、町と議会、そして町民の方々と一緒に考え、行動を起こしていく必要性を痛感した「みなさんと語る会」だったと思います。

ご指摘いただいたことは、今後の議会活動に活かすと共に活力あるまちづくりに励んでいきます。

議会では、より開かれた身近な議会を目指し「議会基本条例」の制定を検討中です。

この条例の目的を達成するためにも「みなさんと語る会」を充実させ、多くの出席を得られるよう努力していきます。

なお、各会場で出された意見等を抜粋して掲載します。

日程	開催地区	参加人数	内 訳		議会側出席者		
			男性	女性			
11月4日	中	40	19	21	中村 後藤	長沼(安) 鈴木	長沼(桂)
11月5日	中津川	19	16	3	菅野 船山	山口	嶋貫
11月6日	東 部	21	21	0	菅野 嶋貫	後藤	山口
	高 峰	13	12	1	長沼(桂) 鈴木	中村	船山
11月11日	小白川	9	9	0	嶋貫 長沼(安)	菅野	後藤
11月12日	手ノ子	22	20	2	長沼(桂) 中村	嶋貫	後藤
11月20日	萩 生	13	13	0	鈴木 中村	船山 菅野	長沼(安)
11月21日	椿	10	10	0	後藤 嶋貫	長沼(桂)	菅野
11月29日	黒 沢	16	16	0	船山 長沼(桂)	鈴木 山口	中村
	合計	163	136	27			

みなさんと語る会

空き施設利用早急に検討

空き施設の跡利用は

問 25年度中に閉校や工場の閉鎖により空いた施設をどのように利用していきますか。

答 置賜農業高校飯豊分校と、中津川小・中学校の閉校による校舎及びLDF（旧和光電気山形工場）の工場閉鎖により、空き施設は3カ所になりました。飯豊分校は、耐震性に不安があり建物は解体、その後の利用については、町民の方々や同窓生の意見を聴き、決定する意向です。また、庁舎内に跡地利用検討委員会を立ち上げ、検討しています。中津川小学校については、耐震性も問題ないということなので、地域の拠点として地元

で検討し、有意義な利活用をしていただけたらと思います。

LDFについては、所有者の東芝ライテックから町に無償譲渡していただけるといことから、建物を解体するかも含め、雇用の拡大につながるよう検討中です。

いずれも町の財産なので、慎重に、しかも早急に跡利用を考える必要があります。

歩道除雪を

「雪みち計画」に

問 県道米沢飯豊線の改良により、車歩道の除雪した雪の置き場がなくなります。「雪みち計画」に組み入れ、歩道除雪をやっていたきたいと思いませんか。

答 県の考えは、田んぼを借りてそこまで運ぶか、排雪の回数を増やして対応するのとこのでした。「雪みち計画」は、国と県、町が一緒に策定したものですので、組み入れるよう働きかけをします。

将来の水源地は

問 新たな水源地として予備調査に入っていると聞くが、将来、水源地は小白川と萩生を無くし、1カ所にするということですか。

答 地下水が豊富な中地区を調査中です。その水量によりますが、小白川浄水場も老朽化しており、六郎沢と中地区の2カ所で水道水を確保したいとの報告

を受けています。

長井市から水道水購入については考えずに、自前で調達したいと、町では考えています。

婚活事業への取り組みは

問 婚活事業はどのように展開していますか。特に、適齢期を過ぎた自身の結婚が問題と

思います。年代毎の事業実施も必要では。

答 町独自でなく、置賜3市5町で組織する置賜広域行政事務組合で、広域的に年代を区切るなどして事業を展開し、ある程度の成果を上げています。

また、町消防団主催で今年度初めて婚活事業が実施されました。



女性の声を町政に（中）

みなさんと語る会

利益の上がる農業政策を

農業問題
今後の動向と対応は

問 農業問題について、TPP5品目死守はできるのか。また、減反を廃止する政策が打ち出されました。今後の農業はどうなっていくのか心配です。

答 ただ、この機会を悪くばかり捕らえずに、他の地域に負けない、飯豊町にしかできないことを創出する良い機会でもあると思います。町で、方向付けをする組織づくりを進め、利益の上がる農業実現を目指していただきましたと考えます。

問 TPPについては、陳情活動を展開したり、意見書を提出し死守するための活動をしています。



町の課題を話し合い（手ノ子）

減反廃止の件は、まだマスコミ報道以外の情報は入ってこない状況ですが、どのような政策になろうと、農業が産業として成り立つようにしていかなければと思います。

それには、町、農協等が一体となった営農指導、経営指導が重要と考えられますし、今後の農業の在るべき姿を検討する組織づくりが急務と実感しています。

休日も預けられる
乳幼児施設の運営を

問 本町の子育て支援事業は、他市町より優れており助かっていますが、土・日曜日も預けられる施設の運営をお願いします。

答 NPO法人等がありますが、料金が高く利用できません。他市町では実施している所もあるので、是非本町も実施するよう要望します。

問 子育て支援は他市町より優れた事業を展開しています。今、職業や勤務体系も多用化してきている中、休日の施設開放も考える時期と思うので、議会としても町に提言します。

介護保険料を
減らす方策は

問 介護保険料が高く、高齢者に負担が重く、しかかっています。軽減策はありませんか。

答 本町の保険料が高くなっている理由は、施設の充足率が高く、サービスが行き届いていることと、被保険者の低所得者層が多いことなどが上げられます。町と議会では、国に対し陳情してきましたが、介護保険は互助制度でもあり、今度方向は見つかっていません。今後共、制度を見直しするよう、陳情活動を継続していきます。

みなさんと語る会

より開かれた議会のために

議会基本条例の
目的と町との関連は

問 基本条例の制定はいつ頃目途にしていますか。

また、町と議会が並行して策定すべきと思うが。

答 26年3月を目途に会議を重ね検討していきます。

条例を制定しなくとも、他市町と比べ開かれた議会運営をしますが、地方自治法の改正等により必要性が生じてきたので、策定することになりました。

また、町には自治基本条例を制定するよう提言していますが、検討に入っていないので議会が先行し、制定することになりました。

自治基本条例と議会



椿地区排水路を全議員で

基本条例を並行して制定すれば、効果もより上がると思いますが、他市町を見ると、どちらか片方のみ制定している自治体が多々あり、それなりの効果があるとのことです。

字続きの毎日です。開通の見通しは。また、陳情等を重ね、一日も早い開通を願います。

林道飯豊松枝岐線の 災害復旧の見通しは

問 やつと開通した大規模林道飯豊松枝岐線が、豪雨災害により通行不能となったため、開通当時30〜40人の来客があったそば屋も赤

答 そば工房の再開をお願いした議会としては、何と云っていいの一言葉もありません。

本町側は小さな災害でしたが、福島側が大規模な災害でした。陳情を両県で行った結果、25年度から復旧事業に着手、26年度に完了し、27年度から開通できるよう努力しているとの事です。

現地調査箇所

地区名	場所等	地区名	場所等
高峰	西高峰橋	添川	集排処理場迂回路
高峰	橋本橋	添川	添川排水路・赤岩堀
高峰	毛下野橋	添川	町道添川線（松原～昭和）
高峰	赤岩橋	中	町道荒館線
高峰	町道朴の沢線	黒沢	主要地方道長井飯豊線
小白川	野山（六郎沢）	黒沢	町道深淵線
椿	八幡堀（坂爪薬局～大福寺）	萩生	第一小学校駐車場用地

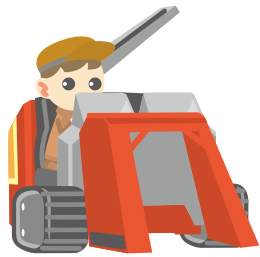
全地区の語る会終了後、地元の方と町、議会が一緒に現地調査を行い、直ちに対応できるものは対応しました。現地調査の場所、路線等は表のとおりです。

はたしてアベノミクス効果は？

全議員研修

大きく変化する農業政策

12月10日、町執行部、担当職員、さらに小池県議にも同席頂き、大きく変る農業政策について、国・県から講演・説明を受けました。東北農政局山形地域センターより安倍政権が提唱する「攻めの農林水産業」のための農政の改革方向（案）と題し説明がありました。農林水産業を成長産業化し、農業・農村の所得増を目指す諸政策でありましたが、骨子、枠組みはマスコミ報道のとおりですが、内容については、農家にとつてはわかりにくく、我が町でいかに活用していくか、議会としても課題であると感じました。



また、「新農林水産業元気再生戦略」と題し、県より、農林水産業産出額3千億円を目標に競争力の高い経営体の育成、多様な担い手による活性化について説明を頂きました。5年後を目途に農家、農村主体の仕組みに水田農業は変わります。水稲を中心とした土地利用型の農業をどう構築していくか問われる時、町内を見渡し地域にあった政策の導入を提案すべきと感じた研修でした。

今年は何もいざし 自主研修

新しい年を迎えた、1月10日、あすを会場に研修会を開催しました。講師に、野村證券(株)山形支店長 光橋康雄氏をお迎えし、「今後の経済動向について」と題し、講演いただきました。経済状況が上向きになったことは、リーマンショック後の回復でなく、バブル崩壊以来の変化であり、アベノミクス効果が一部後押しし、株価の上昇にも繋がっているとのことでした。また、東京五輪決定で、首都圏では個人投資家が、元気をとり戻しホットな状況の中、民間活力で景気状況が



景気回復に期待

好転すると述べられました。県内では、山形デザインキャンペーンと、話題性のある「つや姫」で

観光に大きく伸びる可能性があり、発展するチャンスとの見解でありました。50人を超える町民の方々にも出席いただき、一刻も早い回復感が、伝わってくればと皆さんが思ったのではないのでしょうか。

＝ 広域的な提言を ＝

一部事務組合議会報告

置賜広域病院組合

平成24年度、病院事業会計決算と25年度補正予算を審査し、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

外来患者数は救命救急センターと長井病院では増加したものの、入院患者数とともに各施設で減少しました。

しかし、入院患者一人当たりの診療収入が増加したことで、医業収益全体では2・8%増の12億426万円となりました。医業費用も増加しましたが、医業損失が23年度より大幅に減少し、「経営努力が功を奏した」との監査意見があり、各市町の分担金も減少しました。

置賜広域行政事務組合

11月26日に定例会を開催し、24年度決算3件、条例改正と補正予算等、合わせ10件を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計決算は、歳入が38億4221万円、歳出が37億4529万円、翌年度へ繰越す財源が1384万円で、実質収支額は8308万円となりました。

なお、本町の分担金は7846万円でした。24年度の主な事業は、置賜ふるさと市町村圏計画の策定、長井クリーンセンターの老朽化に伴い、汚泥再生処理センターの建設に着手しました。また、子育て支援として可燃ゴミ袋の支給も開始しました。

特別会計では、婚活推進事業や、置賜3市5町から特産品を出店した「おきたま八食祭」を開催しました。

西置賜広域行政事務組合

平成25年10月8日第5回定例会が開催され、平成24年度一般会計歳入歳出決算認定及び一般会計補正予算第2号、監査委員の選任をいずれも原案のとおり可決・認定しました。

また、11月29日に第6回臨時会が開催され、職員定数の一部を改正する条例を可決しました。

内容は、消防機関の職員を105人から110人とするものです。

24年度一般会計決算額は、歳入16億4963万円、歳出16億1949万円、歳入歳出差引額は3014万円



信頼される病院に

編集後記

久方ぶりの広報委員。「松に古今の色なし」私の心に置く言葉です。

松は幼木・老木問わず、また春夏秋冬、緑の色を保つとのこと。初心忘れず、皆様に読んで頂けるように、記述・編集していきたいと思います。益々のご愛読をお願いいたします。(菅野記)

発行責任者	議長	中村 仁一
委員 長	委員 長	長沼 安義
副委員長	委員	菅野富士雄
	委員	長沼 桂子
	委員	山口 文隆
	委員	中村 仁一
	委員	船山 清一